

## 優秀賞

# 東京都葛飾区立二上小学校 「2019年度 運動会」

### 学校紹介

映画でもよく知られる東京葛飾の下町の小学校。全校児童646人。特別支援学級設置校であり、通常学級との交流共同学習も進めている。外国籍の児童も多く、様々な人との関わりを大切にする学校である。

### 取組概要等

#### 【取組概要】

特別支援学級の児童も含まれる各学年代表で模擬聖火をつないで校庭1周を走り、最後の6年生走者が、模擬聖火台に点火する。

#### 【取組のねらい】

東京2020大会への関心を高めるため、2年前から運動会の開会式に模擬聖火リレーを行っている。

#### 【創意工夫した点】

今年度特に創意工夫した点は、本校元PTA会長が東京1964オリンピック聖火リレーの時、区中学生代表として伴走した経験があるので、事前に全校朝会にて児童に当時の思い出を語ってもらい、運動会当日は、模擬聖火リレーの第1走者になり本校児童に模擬聖火をつないだ。最終走者の6年生児童は、その元PTA会長が55年前に着用した公式ユニフォームを身に付け、全校児童が見守る中、点火した。その他、東京1964オリンピック競技大会のファンファーレの演奏で開会したり、オリンピック・パラリンピックと関連した趣向を全学年の競技に取り入れたり、オリンピックのシンボルの輪を集団表現したり、組体操でオリンピックの様々な競技を表現した。

#### 【取組結果や効果】

55年前の東京1964オリンピック聖火リレー関係者から自分たちに模擬トーチが引き継がれた姿を見て多くの児童が感動し、一生懸命演技・競技した。前回の東京1964オリンピック競技大会を知るきっかけになり、さらに、2020年7月20日、再び葛飾区で東京2020オリンピック聖火リレーが行われるので、東京2020大会への期待が膨らんだ。

#### 【来年度以降の展開予定など】

今年度で3回目の実施であり、本校の運動会の特色あるプログラムとして保護者・地域からも好評のため、来年度以降も実施する。



## プログラムの様子



東京1964オリンピック聖火リレーの伴走者から模擬トーチを受け取りました。55年の時を越えて、再び走り出します。



跳び箱と大型扇風機を活用して作った模擬聖火台に炎が灯る様子です。



全校児童が見守る中、代表児童の最終ランナーが、東京1964オリンピック聖火リレーの公式ユニフォーム（実物）を着て模擬聖火台に向かいます。



組体操ではオリンピックのシンボルの輪をイメージした隊形移動や児童が考えた各競技の表現を取り入れました。

## 東京2020アスリート委員会からのコメント

東京1964オリンピック聖火リレーについての事前学習を行ったことで臨場感あふれる模擬聖火リレーにつながったと感じました。組体操の中に競技を取り入れるという点も独創的で素晴らしい取組でした。

## 受賞のコメント

模擬聖火リレーは2年前から始めましたが、今年度はオリンピック・パラリンピックと関連した趣向を全学年やPTAの競技に入れたので、今回の受賞は運動会への学校・家庭・地域の取組が評価されたと思っています。東京2020パラリンピック競技大会を全児童で観戦する予定なので夢が膨らみました。ありがとうございました。